

公表:令和 6 年 2 月 1 日

事業所名 あんあんclass白石中央ルーム

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9				
	② 職員の配置数は適切であるか	7	2		シフト作成段階では適切に配置している。また余裕を持って配置している時もある。	適切に配置していても、職員の急な休みにより必要な職員数を確保出来ない時がある為、今後どのように確保していくかが課題
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	2		特性に応じ一部構造化している。	同じような特性を持った児童が複数いる場合の構造化をどのように行おうかが今後課題になると考える。必要に応じバリエーションや個別で過ごす事が出来る空間の確保が必要になってくる事が想定される。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	2			
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	3			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9				
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	2			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	5	1		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2			内部研修・外部研修ともに積極的に参加するよう声をかけてはいるが状況によって直接参加が難しい職員もあるため、今後は研修時間をどのように確保していくか検討が必要だと思う。
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	1			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を因るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	3			
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	2			計画書の内容が固まっていると計画に沿った支援は難しいが、職員全員が児童委員の計画内容を固めて対応しているかといわれたら、それは出来ていないと感じる。一人ひとりが意識して業務にあたるよう取り組んでいく。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	8			基本的には常勤職員が立案しているが、常勤以外の職員も一緒に考えていく(どういう目的・ねらいがあるかを考える)で業務の質も上がっていくのではないかと考える。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	8			意味があつての固定化であれば問題ないが、今は妥協ではないのか?と思われる部分もある為、見直しは必要だと考えている。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9				
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1			
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2			常勤職員は連携話し合う事が出来ているが、パート職員とは連携話し合う場を設ける事が出来ず、共通ツールでの共有という形になってしまふ。また、勤務時間外にそれを求める事もコンプライアンスに引っ掛かってきてしまふ為、今後どのような形にしていけるのかを先ず確認しながら進めていく必要はあると思う。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1			
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9					
関係機関や 保護	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	5			
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	5	2		
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					該当なし

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					該当なし		
	⑮ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	3				必要に応じて行います。保護者さんによってはデイト利用を知られたくないという方もいますので、まずは保護者の意向を聞いてからが大前提になると考えます。	
	⑯ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	2				
	⑰ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	7				
	⑱ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	3				給食の児童が幼稚園・保育園に通っている為、特別そのような交流を持つ事の必要性については重くないと考えている。未就園の子ども達を保育園に連れていき交流の機会を設けている為、今後も利用するお子さんによって対応していく。	
	⑲ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加しているか		5	4			積極的ではないが参加している。	
	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1					
	㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	5	2	2				
	㉒ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	2					
	保護者への説明責任等	⑳ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	1				
㉓ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		9						
㉔ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		9						
㉕ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		9						
㉖ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		6	3					
㉗ 個人情報の取扱いに十分注意しているか		7	2				不十分だと感じている時がある。特に「連絡ノート」や個人名の乗った配布物等の入れ間違いや、職員によるミスがあるため、今後どのように防いでいくか考えていく必要がある。	
㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		8	1					
㉙ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	5			招待する事はないが、ハロウィンやお祭り地域住民との交流は持つ事が出来ている。また、ボランティアの受け入れ「つつも車いす」で中学生の受け入れ、保育園児の受け入れも行っている。	
非常時等の対応		㉚ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	1				
		㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9					
	㉜ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7	2			契約時に確認している	予防接種について任意接種については全ては把握していない	
	㉝ 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	5	4				アレルギーについては事前に確認している為、必要に応じて対応していく	
	㉞ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9						
	㉟ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1					
	㊱ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	1					

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和6年2月1日

事業所名 あんあんclass白石中央ルーム 保護者等数(児童数) 27 回収数 23 割合 85 %

	チェック項目	はい				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23				広やして十分に確保されています。		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	2		4	先生の入れ代わりが早い。新しい先生は子どもの様子を知るのに苦労してしまっている。スタッフが一人で専門的な知識を持つ方が少ない。また、経験豊富なスタッフが不足している。経験豊富なスタッフについては、専門性について、ほとんどの職員が、子どもの発達や障害について、専門的な知識やスキルを身につけていない。また、経験豊富なスタッフは、子どもと関わりながら、専門性を発揮している。また、経験豊富なスタッフは、子どもと関わりながら、専門性を発揮している。	職員の配置についての情報は、保護者に対してお伝えしています。専門性について、ほとんどの職員が、子どもの発達や障害について、専門的な知識やスキルを身につけていない。また、経験豊富なスタッフは、子どもと関わりながら、専門性を発揮している。また、経験豊富なスタッフは、子どもと関わりながら、専門性を発揮している。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構成された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21			2			
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23						
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	23						
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「家族支援(本人支援及び移行支援)」、「地域支援」が示されているか	23						
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22			1			
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22			1			
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11		2	10	事業所として行っている。しかし、障がいのある子どもとの交流や、障がいのない子どもと活動する機会が少ない。また、障がいのある子どもとの交流や、障がいのない子どもと活動する機会が少ない。	これについては、障がいのある子どもとの交流や、障がいのない子どもと活動する機会が少ない。また、障がいのある子どもとの交流や、障がいのない子どもと活動する機会が少ない。	
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22		1				
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	22			1			
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	17	2		4	今のところ家族支援プログラムは実施していない。保護者に対しては、個別に相談しながら、必要な支援を提供している。	ご家庭で困っている事や対応が難しいという時はぜひご相談下さい。	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	22	1			子供の発達状況に合わせて対応している。保護者に対しては、個別に相談しながら、必要な支援を提供している。	発達に関する情報は、保護者に対してお伝えしています。また、発達に関する情報は、保護者に対してお伝えしています。	
保護者への説明等	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	1			毎月1回程度に行っている。保護者に対しては、個別に相談しながら、必要な支援を提供している。	計画書の更新の際には、面談をおすすめしています。保護者に対しては、個別に相談しながら、必要な支援を提供している。	
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18	2		3	同じ課題の方とつながり、助け合える機会を提供している。保護者に対しては、個別に相談しながら、必要な支援を提供している。	保護者会は「発達障害」ということで集まる機会を提供しています。また、保護者会が開催される場合は、保護者に対してお伝えしています。	
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	1		1	迅速に対応している。保護者に対しては、個別に相談しながら、必要な支援を提供している。		
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1			個別の状況に合わせて対応している。保護者に対しては、個別に相談しながら、必要な支援を提供している。		
	⑱ 定期的な会議やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22	1					
	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	19	2		2			
	非常時の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19		1	3	訓練している。保護者に対しては、個別に相談しながら、必要な支援を提供している。	緊急時対応マニュアルは策定されています。また、発生を想定した訓練は実施されています。
		㉑ 非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19			4		
	満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	20	2		1		
		㉓ 事業所の支援に満足しているか	22	1				

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。